

2025年 さわやか通信 OWLS NEWS

つちや 品子

■ 2025年 冬号 ■ 編集・発行：自民党埼玉県第十六選挙区支部

■ お問い合わせ先：春日部市粕壁東2-3-40グレースヒル橋本101

TEL:048-761-0475 FAX:048-763-3475 e-mail:otayori@owls.jp WEB:www.owls.jp/shinako

■ 土屋品子オフィシャルサイト・Facebook・X (旧Twitter) ・選挙ドットコムページはこちらのQRコードから！



初の女性総理の誕生

10月21日に高市早苗総理大臣が誕生しました。日本の国政史上初めての女性総理の誕生で、皆さんも期待が膨らんでいると思います。日本は男女の格差を測る指標でありますジェンダーギャップ指数が148カ国中118位と低い順位でしたが、女性総理の誕生でこの順位が上がることも期待しております。

今国会から自民党総務会のメンバーになりました。総務会は自民党の最高意思決定機関のひとつで、党の運営や重要な方針を最終的に承認する役割を持っていますので、閣議決定に関わる全ての案件・法律に関しての審議をしております。また衆議院の予算委員会、国土交通委員会、そして災害対策特別委員会にも所属しております。復興大臣の経験を踏まえて、災害が起こったときの準備、また起こった後の復興への対応について、さらに深い審議をしていきたいと思っています。

日本を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。物価上昇、円安、国際情勢の不安定化など、国民生活と経済活動の基盤が大きな影響を受けています。このような中で高市総理とともに、物価高への的確な対応、中小企業の支援、賃上げの促進、そして地域経済の再生など、実効性ある経済対策をひとつひとつ確実に進め、国民生活を守り、日本経済の力強い再生を実現するために全力を尽くしてまいります。

春日部駅付近連続立体交差事業、地下鉄7号線延伸、東埼玉道路延伸の事業といった地域の課題改善をさらに推し進め、16区全体がより一層活性化するよう頑張っておりますので、皆さまのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

衆議院議員 土屋品子



埼玉県第16区



OwlsClub登録者募集中！

QRコードからご登録いただければ、ライブ配信などの様々な企画に無料でご参加できます。メールアドレス・お名前・住所(市町村まで)・性別・年齢のみのご登録です。





日本・カナダ友好議連の会長として

9月上旬に日本・カナダ友好議連とカナダ・日本友好議連の合同総会がバンクーバーで開催され、議連会長として超党派のメンバーと共に出席しました。両国の議員外交は40年間に渡る相互交流の歴史があり、隔年でお互いを訪問しています。今回も有意義な意見交換が行われました。

総会に加え、バンクーバーで日本企業に関わるLNG開発についての説明を受けると共に、カナダ最大のバンクーバー・フレーザー港湾を視察しました。

カナダは2025年のG7議長国であり、米トランプ大統領による厳しい関税措置や「アメリカの51番目の州になればよい」という発言を受けるなど厳しい国際情勢の中にありますが、太平洋をはさんだ隣国である日本とは、「法の支配」を重視する重要なパートナーであり、これまで以上に友好関係を強くしていきたいと思っております。



9.1 議員連盟総会にて



9.1 議連会長として挨拶



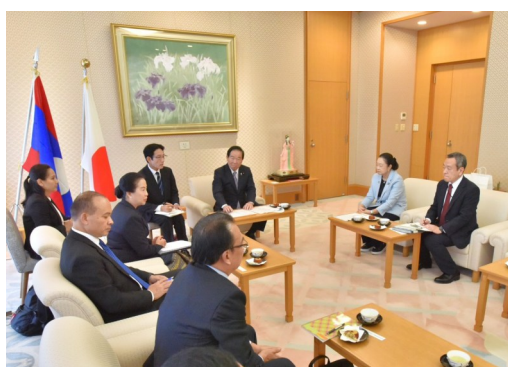
日本・ラオス友好議連の会長として

9月下旬からラオスのラオス・日本友好議員連盟のトゥンマリー・ヴォンパチャン会長を団長とする議員団が来日され、日本・ラオス友好議員連盟の会長として、両議連の合同総会に出席しました。また額賀衆議院議長への表敬訪問に同行しました。

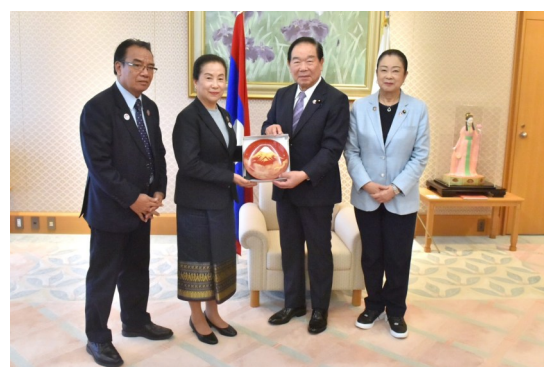
日本とラオスは今年で国交樹立70周年になります。その間に強い友好関係を築くと共に、JICAを通じて幅広い協力を進めています。インフラ整備ではメコン友好橋や空港改修、上下水道改善などを支援し、物流や生活環境の向上に貢献しました。教育・医療分野では教材開発や母子保健、医療人材育成を推進し、農業では稲作技術や農村開発を支援しています。さらに行政能力や法制度の整備の面でも、ラオスの持続的発展を後押ししています。今後も安定的で信頼性の高いパートナーとして協力を深化させていくことでしょう。



9.29 トゥンマリー・ヴォンパチャンさんと



9.29 額賀衆議院議長と会談



9.29 額賀衆議院議長と

能登の復興のために

10月27日に岸田元総理を会長とした「能登半島地震を踏まえた被災者目線での震災対応を実現する議員の会」のメンバーで被災地を訪問しました。時間と共に復興が進んでくると、被災地について聞くことが少なくなりがちですが、地域の元気のためにはいつも気にかけてくれる人たちがいることが力になると思います。そして現場の声を国政に届けることが非常に重要です。現在の復旧工事の状況や各市町の要望を伺い、岸田元総理からは「何があっても応援をしていこう」という言葉を頂きました。その想いに強い温かさを感じ共感しています。私自身も復興大臣としての経験を生かし、被災地の声を届けるとともに、防災にかかわる施策の推進に力を注いでまいります。



10.27 岸田元総理とともに説明を受けてます



10.27 沿岸工事について聞いています



10.27 沿岸を視察中